

(1)



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎894-3737)

第25回健康福祉フェスティバル大綱決まる

11月13日(日)10時～15時

於:保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)

ふれあいホールイベントスケジュール

時間	イベント内容
9:45～10:00	オープニングセレモニー (交野高校吹奏楽部) 実行委員長挨拶 来賓挨拶 主催者紹介
10:00～10:45	交野高校吹奏楽部演奏
10:50～11:15	献血に対する啓発
11:20～11:45	健康に関する啓発
11:50～12:15	元気アップ体操
	休憩
13:00～13:20	和太鼓演奏(ででんこ交野)
13:25～13:55	紙芝居 (交野市人権協会パープル)
14:00～14:45	交野高校吹奏楽部演奏

8月2日(火)、健康福祉フェスティバル実行委員会が開催され、今年度のフェスティバルの大綱が決まりました。前年度をベースに健康フェア部会、ふれあい部会とも進めることになりました。

ボランティアグループ連絡会では、健康フェア部会に介護衣料品展示(系ぐるま)、おもちゃづくり(玉手箱)、V連活動紹介パネル展示、対面朗読(あい)、点字体験(虹の念)などを予定しています。ふれあい部会では6つのブースに出店します。他に屋外ステージには歌体操(HAND)と車いすダンス(ひまわり)が



出場します。ふれあい部会の細部については次号で案内します。

昨年のボランティアグループ連絡会のパネル展示による活動紹介

世界は繋がっている

国民性、異なる価値観や文化を学び、受け入れ、地域に拡げる活動をしています。

10月23日(日)午後1時から、ゆうゆうセンターで、シニア並びに青年「海外ボランティアの体験談」と応募説明をします。体験談と説明会を開催している市町村は大都市を除くと珍しく、是非ともこの機会にお越し下さい。

国際理解・交流「KIC」



ボランティアグループ 近況あれこれ



朗読「あい」

声の広報を聞いてみませんか！

交野市の広報「かたの」を音訳していきま。毎月下旬に広報が届き、翌月の初旬にはCDやテープにして視覚障がい者の方々にお届けしています。
録音室では読み手、録音する人、校正(二人)する人の4人体制で、雑音が入らないように、読み違いがなく、分かりやすい録音を心がけています。交野市「声の広報」のホームページからどなたでも聞くことができます。一度聞いてみて下さい。

サマースクールのお手伝い！

8月20日、交野市障害児(者)親の会主催のサマースクール(いきいきランド交野で開催)に交野高校ジャグリング部の演技とカプラ(松の木で作った積木のようなもの)でかまくら(写真右)やナイアガラの滝(写真左)、参加者がそれぞれの作品(写真中)を作りました。かまくらには子どもが12人も入ったのは驚きでした。今年も楽しくお手伝いができ、楽しい1日でした。

障がい者・施設支援「ふれんズ」





作業所の仕事を体験する
キッズボランティアたち

ハートフルステーションいわふねを訪問

作業所体験&障がい者との交流

キッズボランティア大作戦スタート!

8月3日、小学4〜6年生の児童を対象に、ボランティア体験企画「キッズボランティア大作戦！」がスタートしました。

初回は、枚方市障害者スポーツ連絡会の米原さんと、ボランティアグループ「ふれんズ」リーダーの佃さんのご協力で、パラリンピック正式種目ボッチャゲーム、アイマスクを付けてからの昼食体験、ボランティア活動の紹介が行われました。障がいのある方

とのコミュニケーションについては、「相手の目を見て笑顔で」「言葉による会話は難しくても、気持ちをは伝わる」など、アドバイスをいただきました。

そして8月17日、障がいのある方が働いている作業所ハートフルステーションいわふねへ行き、内職作業や空き缶のリサイクル、アクリルたわしの製作など、みなさんに交じって作業を体験しました。

慣れない作業に必死になつていましたが、みなさんが優しく話しかけてくださったり、身振り手振りで挨拶をしてくださったりするうちに、子ども達の緊張も少しずつとけて、「みんな一生懸命仕事をしていてすごいと思った」「楽しかった、また行きたい!」と、交流で元気をもらった子ども達も嬉しそうに笑顔が見られました。

ボランティア インタビュー46



森地佳子さん
「星の会」



ボランティアを始めたきっかけは

娘が聴覚障がい者で、学生の頃に要約筆記で「星の会」のみなさんにお世話になりました。それがきっかけで私も交野で活動ができたらと、要約筆記の養成講座を受け、星の会に入会しました。

やってみての感想は

振り返れば10年近くになります。家庭の事情で休会した時期もありましたが、メンバーの方々には温かく接していただき、居心地がよく、今まで続けられています。また聴覚障がい者の方とも一緒に活動ができるのも魅力になっていきます。

リーダーになって思う以前はリーダーの方にお世話になっておりましたが、自分がやってみると、周りの方に助けられ、フォローをしていただき、感謝しています。

趣味はなんでしょう

パン教室へ3年位通っています。パンとお菓子作りを娘と一緒に楽しんでいます。前々回の朝ドラでお菓子作りのドラマ「まれ」が放映されたときは、娘との会話が随分弾みました。

笑顔を大切に

家庭でも、サークル活動でも笑顔忘れずにしたいものです。また要約筆記を広く知って頂けるようPRできればと思っています。

地区災害ボランティアセンターの機能と役割

実践シミュレーションで課題を探る

8月25日、社会福祉協議会主催による災害時における地域づくり実践研修会が開催されました。

大阪府社協の青木淳氏による災害ボランティアセンターの機能と役割についての講演を受けて、震度6の地震発生後4日目で地区災害ボランティアセンター（V.C）が設置されたという条件下で、センターの機能と役割についてシミュレーションが行われました。

地区災害V.Cには「困りごと班・ニーズキャッチ班・コーディネート班・ボランティア班」が設置され、住民の多様な困りごとに対する対処できるか、社協V.Cとの連携をとりながらシミュレーションが展開されました。初めての試みでもあり、地区V.Cと社協V.Cとの連携をはじめ、幾つかの課題を残しましたが、この経験を積み上げて次に生かして欲しいと思いました。

リーダー会議

（8月23日）

☆連絡会より

・市民交流フェスタ

9月3日（土）13時開催

会場レイアウト等、実行委員会での検討経過などについて報告・審議

反省会は9月6日（火）

10時からVセンターで開催

・ふれあい広場、11月13日（日）、出店ブースは昨年通り5ブースを出店、実行委員会は9月7日（水）10時からVセンターで開催

・大阪府市町村ボランティア連絡会20周年式典が11月13日に開催

☆Vセンターより

・赤い羽根共同募金街頭活動について（4面参照）

・大阪880万人訓練

9月5日（月）11時3分に大津波警報が発せられる（エリアメール）

・ボランティア募集冊子の作成とグループ支援

☆各グループ報告（省略）



今年はずっと皆さんの一生懸命を見た夏でした。リオオリンピックに高野球。年齢や性別を問わず目標に向かっていく姿を見て、応援の手に思わぬ力が入りました。うれし涙や悔し涙、光る汗にガッツポーズなど一瞬、一瞬がとてもきらきらして見えました。美しく力強くてしなやかで。獲得したメダルの数は期待以上でしたね。オリンピック閉会式のマリオはちよつとびっくりでしたが。そして次はパラリンピック。まだまだ感動や興奮が続くそう楽しみです。（もも）

赤い羽根共同募金 街頭募金 ボランティア募集

下記の日時・場所で街頭募金活動が実施されます。

ボランティアみなさまのご協力をお願いします。ご協力いただける方は9月14日（水）までに、ボランティアセンターまでご連絡ください。

10月4日（火）17:30～18:30

京阪交野市駅前

10月5日（水）10:00～11:00

関西スーパー倉治店

10月5日（水）17:30～18:30

JR星田駅前

10月7日（金）17:30～18:30

JR河内磐船駅前

11月13日（日）9:30～15:00

ゆうゆうセンター（ふれあい広場）